

平成 2 8 年度
鴨川市社会教育委員会議 会議録

平成 2 8 年 7 月 7 日（木） 午後 1 時 3 0 分開会

鴨川市天津小湊支所 3 階 会議室

鴨川市教育委員会 生涯学習課

平成 28 年度 鴨川市社会教育委員会 会議録

1. 日 時 平成 28 年 7 月 7 日（木） 開会：午後 1 時 30 分 閉会：午後 4 時 24 分
2. 場 所 天津小湊支所 3 階会議室
3. 出席者 次のとおり
【委 員】庄司 満治 委員、鈴木 希彦 委員、鈴木 淳 委員、高橋 和夫 委員、
塗谷 和男 委員、川名 康介 委員、川名 敏昭 委員、石田 三示 委員、
仲澤 博 委員
欠席（長谷川 清美 委員）
途中退席（鈴木 希彦 委員、鈴木 淳 委員、川名 康介 委員）
【事務局】野田教育長、黒野課長、入江課長補佐、石川文化振興室室長兼課長補佐、
滝口社会教育指導員、鈴木青少年係長、加藤社会教育係長、洲永主査、
四宮主査、榎倉主事、川上社会教育主事（連絡のみ）
4. 傍聴人 なし

【委嘱状の交付】

新任委員（5 名）へ、野田教育長から交付。

市内校長会会長ほか計 5 名の各団体長の変更等があったため。

1. 開会

鴨川市社会教育委員会運営規則第 6 条の規定に基づき、会議の成立報告。

2. 教育長挨拶

野田教育長

3. 議長挨拶

石田議長

4. 報告

（石田議長）

それでは、これから次第〔4. 報告〕、及び次第〔5. 議題〕に入りますが、議事録署名人の選出に入ります。私からの指名で申し訳ありませんが、議事録の署名人を塗谷委員にお願いしたいと思いますが、ご異議ございませんか。

『異議なし』の声

（石田議長）

ありがとうございます。それでは塗谷委員、よろしくお願いします。

また、以後の発言につきましては、挙手のうえ、議長の許可を得た後に発言をお願いいたします。

それでは、お手元の会議次第により進行させていただきます。次第〔4. 報告〕に入ります。

《報告 1：平成 27 年度鴨川市教育委員会生涯学習課事業報告について》

（石田議長）

報告の 1『平成 27 年度鴨川市教育委員会生涯学習課事業報告』につきまして、事務局より説明をお願いいたします。

●説明

- ・社会教育係及び青少年係関係（鈴木青少年係長）
- ・文化振興室関係（石川文化振興室室長兼課長補佐）
- ・図書館関係（洲永主査）
- ・公民館関係（四宮主査）
- ・社会教育関係事業補助金交付実績（榎倉主事）
- ・社会教育関係事業補助金交付実績【文化振興室】（石川文化振興室室長兼課長補佐）
- ・施設利用状況関係（入江課長補佐）

（石田議長）

ありがとうございました。

《報告 2：平成 28 年度鴨川市教育委員会生涯学習課事業計画について》

（石田議長）

続きまして、報告の 2『平成 28 年度鴨川市教育委員会生涯学習課事業計画』について事務局より説明をお願いいたします。

●説明

- ・鴨川市の生涯学習及び社会教育関係予算（入江課長補佐）
- ・社会教育係及び青少年係関係（加藤社会教育係長）
- ・文化振興室関係（石川文化振興室室長兼課長補佐）
- ・図書館関係（洲永主査）
- ・公民館関係（四宮主査）
- ・社会教育関係事業補助金交付計画（榎倉主事）
- ・社会教育関係事業補助金交付計画【文化振興室】（石川文化振興室室長兼課長補佐）

（石田議長）

以上で報告の 2『平成 28 年度鴨川市教育委員会生涯学習課事業計画』について説明をいただきました。

次第の 5 に入る前に、10 分間の休憩をとりたいと思います。

.....

休 憩 （10 分間）

.....

5 . 議題

《議件 1 : 平成 27 年度鴨川市教育行政評価報告書について》

(石田議長)

それでは、次第〔 5 . 議題 〕に入ります。『平成 27 年度 鴨川市教育行政評価報告書について』まずは、評価導入の経緯及び審議の進め方について、事務局より説明をお願いします。

● 説明

・ 評価導入の経緯と審議の進め方 (入江課長補佐)

(石田議長)

ただ今、事務局より導入の経緯及び審議の進め方の説明がありましたが、そのように進めていくことで、ご異議ございませんか。

『異議なし』の声

(石田議長)

ありがとうございます。それではそのように進めさせていただきます。それでは、さっそく教育行政評価報告書の内容につきまして、事務局より説明をお願いいたします。

● 説明

平成 27 年度 鴨川市教育行政評価報告書 (入江課長補佐)

「 1 - 公民館事業の充実 」

(石田議長)

ただいま、「公民館事業の充実」の説明がございました。皆様から、評価やご提案をいただきたいと思います。

(川名(敏)委員)

一つ教えてください。さきほど、公民館全体で 71,758 名の利用があったということですが、前年度と比べてどの程度増減があったのでしょうか。

(事務局 : 四宮主査)

前年度と比較しますと、貸館は回数では 25 回減っておりますが、利用者数は 1,914 名増えております。全体での利用者は 994 名プラスとなっております。回数が減っても 1 団体あたりの利用人数が増えているので、このような結果になっております。

(川名(敏)委員)

新しい講座としては、どのようなものがありますか。

(事務局 : 四宮主査)

今の流行という訳ではないですけど、利用者からアンケートを取って、今健康志向ですので、具体的に申しますと「実践免疫サロン」、簡単にできる「ユル体操」、「ピラティス」など新たに取り入れており、結構好評で参加者も増えております。

（塗谷委員）

“参加者の減少”とか“高齢化”という文言がありますが、若年層の利用者がどの程度いるのかというのが、利用者数の合計は分かりますが、どのくらい若い方が利用されているのかというのが非常に興味があります。もし分かれば教えてください。

（事務局：四宮主査）

年齢ごとの統計は取っておりませんので詳細は分かりませんが、若年層といたしまして趣味講座で言いますと、“フラ”ですとか“ヨガ”などで若い人が増えております。貸館で言いますと、PTAや、子どもでは土曜スクールなどで公民館を利用しております。

（石田議長）

ありがとうございます。他にございますか。

それでは私から一つだけ。成果と課題の書き方ですが、成果なのかやったことなのか、はっきりしていない。例えば、「掘り起こしも図りました」というのは、これは成果としては見えないのかなと思いますので、今後この記載については「それをしてどういう成果があったのか」という記載を是非お願いしたいと思います。これは全体にそういうところが見えますので、成果という部分をはっきりしていくということをお願いします。

公民館事業についてはよろしいでしょうか。

続きまして、「地域学習・ボランティア活動の支援」の説明をお願いいたします。

●説明

「１ - 地域学習・ボランティア活動の支援」

（石田議長）

「地域学習・ボランティア活動の支援」の説明が終わりました。これにつきまして、委員の皆様から、評価やご提案をいただきたいと思います。

（川名(敏)委員）

教えていただきたいのですが、“文化施設ボランティア”や“生涯学習人材バンクボランティア”の登録の募集方法は、こういった方法で行っているのですか。

（事務局：加藤係長）

広報で募集させていただいております。

（川名(敏)委員）

ボーイスカウトでも、毎年生涯学習人材バンクに“こういった方が登録がありますよ”というリストをいただいて見ており、どこかで活用できればと思っていますが、それがどの程度広がりがあるのかというのが見えないのですけれども。

（石田議長）

ボランティアの募集とか、この成果についても増加があったとか増えているということが活字では書いてありますが、どのくらいどうなのかというのが、数字で見えると非常に分かりがいいというのはあるかもしれないですね。

（川名(康)委員）

事業計画においても評価報告においても、目標値とそれに対する評価がないので、5ヵ年計画等でも用いられている“KPI”という指標を、今後、生涯学習の部分でも取り入れていって、例えば、さきほど講座数が72から79に増えたと、それが翌年の講座はいくつを目標として、どれだけ達成できたのかと数値化していった方が、社会教育委員としても評価しやすいですし、また市民にとってもわかりやすくなる。具体値というのはそういうものでございますので、今後の検討項目として、また実施していただきたいと思います。

（石田議長）

回答いただけるものがあれば。

（事務局：加藤係長）

登録数等は毎年度把握しており、表すことは可能ですので検討していききたいと思います。

（川名(康)委員）

数値で表せるものと表せないものがあるのは把握しているのですが、できうる限り数値で表していくという努力が必要かと思います。例えば、先ほどの“成果の書き方”について議長もおっしゃいましたが、文章で「掘り起こした」と書かれても、何をいくつ掘り起こしたのかという部分がございます。その部分の数値での具体化を、今後重点課題としてやっていただきたいと考えております。

（事務局：黒野課長）

今、川名委員より良いご提案をいただきました。今後につきましては数値化できる事業については、そういうものを目標値といたしまして1年間どうだったのかを成果ということで、その方向にできる限り変えていきたいと考えております。

（石田議長）

ただ数が増えれば良いというものでもないし、減っても中身が充実していけばいいわけで、その辺の評価の仕方って非常に難しいと思います。ただ、できるだけ数字で表せるものは表していくし、非常に活発になったというのを数字で評価するのは難しいと思いますが、言わんとしていることはわかると思いますのでよろしくお願いします。

（事務局：野田教育長）

評価につきましては、学校教育等でも相当問題になっている部分でございまして、学校現場では「保護者の満足度」70%の保護者が“良かった”と答えている。そういった時に、例えば目標値を70から80%に次の年上げていこうと目標を設定すると、評価はできるわけですね。アンケートを取った時に、前年度より10%多く満足していると成果として数値的に表すことができるものもあれば、できないものもあるっていうことを承知しておいていただきたいと思います。なるべくそういう目に見える形で評価していくと。「拡大していった」というのが、どの程度拡大したのかと、確かにそのとおりだと思いますので、今後可能な限りそのようにしていきたい思います。

（石田議長）

よろしいでしょうか。

それでは「児童・生徒の体験活動事業の推進」について、説明をお願いします。

●説明

「 1 - 児童・生徒の体験活動事業の推進」

(石田議長)

「 児童・生徒の体験活動事業の推進」の説明が終わりました。これにつきまして、皆様から、評価やご提案をいただきたいと思います。

(庄司委員)

これにつきましては私たちの立場として、非常に活発にいろいろとやったださっていることに感謝申し上げます。中学校で言えば“キャリア教育”、小中学校共通だと思わすけれども、一つの大きな教育課題であります。それについて、鴨川市では生涯学習課が中心となって職場体験学習の環境を整えてくださっていると、そういう形で進んでくださっているところも有り難い。学校としても非常にやりやすくお世話になっております。今年度は鴨川中学校でいえば約 190 名の子どもたち、来年度は 216 名と増えますが、そういう子どもたちが職場体験に出かけて行きます。市内でその事業所を見つけてくれる、新たに開拓してくれるということを同時に行ったださっていることで、このような体験を充実して保つことができるということがありまして、事前に資料をいただいでここでは是非お礼を、感謝を申し上げたいということでお話をしたいと思ひまして、そのような報告をさせていただきます。

(事務局：野田教育長)

小中学校の子どもたち対象の体験的なものは、これまでもこれからもやっていくんですけれども、高校生との絡み、これについては長狭高校が東条小学校に出かけて行ったり、小学生に勉強を教えたりする活動もあるんですよ。高校生と生涯学習課との絡み、社会教育について今後の方向性として何かできるものがあるのではないかなと思わすけれども、高校生はいろんな地区から来てますからそういった子たちのこともあります、長狭高校の校長先生どうなんですか。

(鈴木(希)委員)

現在、本校の生徒が毎学期、東条小学校へお邪魔させていただいておりまして、小学生の放課後の学習サポーターということで、数年継続して行っだいて、東条小学校からも好評をいただいでます。子どもたちの移動など考えると、精一杯のことをやっだいてるところですが、これが大きな事業になっだいくときに、市のご協力をいただければ可能かなと。今、学校だけでというとな精一杯でございます。そういうところで事業を大きくして、市の主催事業ということでやるのであれば、根本的に考えて共催でというのも検討事項ではないかなと思ひます。

今のところ大変ご好評もいただいでおりますし、本校の経験した生徒も大変為になっだという声が出ております。

(事務局：野田教育長)

文理開成高校の校長先生もいらっしやいますから、社会教育委員として参加されてますので、パトロールだけでなくいろいろな体験活動もやっだいただければ。

（石田議長）

東条小で実績があって、一定の評価があるということであって、もっと広げるにはいろいろ問題はあるでしょうが、改善しながらできることがあれば是非ということで、この委員会からのご提言という形で。

（川名(敏)委員）

課題の一番上ですが、先日ボーイスカウトの千葉県連盟主催の研修会に団員が出席いたしまして、活動中の安全の問題を取り上げたテーマだったのですが、天津小学校の土曜スクールのボランティアの方が参加されて、その話を聞いて、土曜スクールでも参考になるということで、10日にその時の講師を呼んで同じような話をしてもらおうそうですが、今各地で育成会とか土曜スクールとかいろいろな活動がありまして、活動内容が重複している部分もあると思うので、その辺のノウハウの交換とか、あるいは一緒にやれるものがあるかどうかとか、あるいは指導者同士の相談とかそういう機会を設けることができないのかな、というのをかねがね思っていたのですが、その辺の横のつながりが中々機会がないということで、できれば生涯学習課でそういう指導者同士が話し合う機会を年1回でも持っていて、情報交換ができないかなと思うのですが。これはお願い事項です。

（事務局：黒野課長）

今、土曜スクールも6小学校区で開催しておりまして、少しずつ増えてきております。一方ボーイスカウトは団体数が減ってきて、統合に至ってきているというお話を聞きました。これから、子どもたちも減少していきます。また、地域の方々も高齢になり、青少年の活動に携わる方々も少なくなってくるということで、ボーイスカウトや土曜スクールは、当然目的は違うところもあると思いますが、大きな視点からいえば青少年の健全育成というところで同じですので、土曜スクールのスタッフの集まりの場もありますので、ボーイスカウトの方で天津小湊の土曜スクールのスタッフと話したいとか、また、他の土曜スクールのスタッフと話したいとか、いずれにいたしましても生涯学習課にお話をいただければコーディネートといいましょうか、仲介をさせていただきますので、是非何なりとおっしゃってください。よろしくお願いいたします。

（石田議長）

以上でよろしいでしょうか。

それでは「家庭教育の支援」について、説明をお願いします。

●説明

「1 - 家庭教育の支援」

（石田議長）

「家庭教育の支援」の説明が終わりました。評価やご提案をいただきたいと思います。

（事務局：滝口社会教育指導員）

補足ですが、「江見地区には保護者組織が無い」と書いてありますけれども、昨年度末からそういう組織を準備しまして、今年度から一緒に相談しながら組織的に実践しております。

(石田議長)

それでは、天津小湊地区はないということでしょうか。

(事務局：入江課長補佐)

はい。そうです。

(石田議長)

27年度については、江見地区もなかったということですが、江見地区については28年度は組織ができましたということでご理解いただきたいと思います。

ほかに何かありますか。

それでは「2 - 啓発活動の促進」について、説明をお願いします。

●説明

「2 - 啓発活動の促進」

(石田議長)

「2 - 啓発活動の促進」について説明が終わりました。皆様から、評価やご提案をいただきたいと思います。

(塗谷委員)

課題に「推進大会と指導者の研修会を別の日にするなど工夫をし」と書いてありますが、28年度の計画は別になっていないのでしょうか。

(事務局：鈴木係長)

28年度は会場の関係もありまして、同日開催で今のところ計画しております。なぜこのような課題が出てきたかという話をさせていただきますと、推進大会、指導者研修会、どちらを先に開催したとしても、その目的の方が終わってしまうと帰ってしまうというようにもございます。例えば推進大会ですと作文、標語等の受賞されるお子様、またその保護者の方、学校関係の方は、その後の話はいいやということで帰ってしまったたり、また、お話を目的に来ての方はその時に来れば良いのではないかと声が出てきまして、すぐ今日明日というわけではないのですが、今後の課題ということで別日開催というのにも視野に入れて検討していかなければいけないのかな、ということで書かせていただきました。

(石田議長)

ほかに何かありますか。よろしいですか。

それでは「2 - 青少年育成団体活動の活性化及び地域との連携強化」について、説明をお願いします。

●説明

「2 - 青少年育成団体活動の活性化及び地域との連携強化」

(石田議長)

「2 - 青少年育成団体活動の活性化及び地域との連携強化」について説明が終わりました。皆様から、評価やご提案をいただきたいと思います。

（高橋委員）

青少年の健全育成活動といっても幅広く、実際難しいところで、スタッフを擁さなければ何もできないということがあると思うんですね。先ほど川名委員がおっしゃっていた、そういう人たちが横の連携をとるという部分では、旧鴨川市では子ども会育成会が各地区にあるんですけれども、天津と小湊にはなく、かねてから仲澤前会長などはそこも活動に入ってもらって、活動をひとつにできたらよりよい青少年育成活動ができるのではないかと、かなり尽力をしていただいたのですが、なかなか立ち上がってこないというのが実情なんですね。こういう機会ですので是非皆さんの協力を得ながら、天津も小湊も、子ども会育成会を何とか形だけでも立ち上げられるようにと思っております。そういうことがあれば、ひとつの共通した組織の中で、川名委員がおっしゃったように、どこかで接点が見いだせるのかなと。青少年健全育成が、子ども会だけでいえば天津と小湊はどうなるんだと、学校の先生なり、PTAの皆さんに努力してもらえばいいのか、或いは、違うボランティアの方に努力してもらえばいいのかということ、そういう問題ではないような気がするんですよ。漏れ落ちがないようにそういうこともお願いできたらと思います。ひとつお願いいたします。

（事務局：野田教育長）

私も天津小学校で若い頃教員をやっていたもので、それまでは曽呂小学校にいました、育成会、子ども会活動が非常に活発で、天津小学校に行った時にそういう活動ではなく、野球、ミニバス、あとは公民館。野球、ミニバスのスポーツ少年団をやっている子どもたちは公民館が事業を主催して子どもたちの面倒を見てあげる。育成会と子ども会という組織が私が若い頃には全然見えなかったのですが、何かあるのですかね。

（川名(敏)委員）

以前は各地区に子ども会はあったんですよ。なくなってしまったところもありますが、まだある地区もあります。

（事務局：四宮主査）

ただ、全町的にないのでそういう組織ができないだけです。

（仲澤委員）

今の件ですが、昔はありました。天津にありました。会長も一緒にやったことありまして、合併時に、当時の生涯学習課長と天津小湊の会長と公民館で3日間夜話し合いました。今話が出ているように、いろんなところに団体はあるんだけれども、旧鴨川のようにまとまったものはないということで、話し合いましたがまとまらなかった過去があります。

ですので、これから高橋会長が話したとおり皆さんで協力して、鴨川市子ども会育成連盟をひとつにね。つどい大会でミニバスは出てくるんですよ。昔は廃品回収をやったり、バスで日帰り旅行に行ったりやってましたよ。ですから何とかひとつ、皆さんの力で何の行事でもいいから出てきてくれれば。

（事務局：野田教育長）

その年代のね、塗谷委員のような年代の仲間が中心になって。

（塗谷委員）

過去に、青少年相談員をやったことがあるんですけど、旧鴨川市の青少年相談員の方がやっている事と、旧天津小湊町の青少年相談員のやっている事が全く違いますから。旧鴨川市の青少年相談員の方たちは、ソフトボールやミニバスケットボールの練習を見たりとか、活動が結構ありますよね。キャンプをやったりとか。旧天津小湊町はそういうのは一切ないですもんね。わんぱくハウスの草刈くらいですよ。やっていることが全く違ったという印象があります。

（仲澤委員）

「ドッジボール大会など1・2年生の行事はあるのか」と言われ、ある先生方と職員の方が一生懸命になってくれて、天津小湊の人がドッジボール大会を1・2年生から作り上げてくれたんです。そうしたら今度、高学年もということで昨年からできるようになりました。それを作ったのは、天津小湊の先生と職員です。そういう人たちが一生懸命になってくれました。

（事務局：野田教育長）

この場でどうということもできないので、今後の課題として。

（石田議長）

合併以前の個々の活動というのはあったのですが、いろいろ課題も見えてきているということであれば、それを解決する方向でいくということで、この会からご提言ということにしましょう。

（事務局：野田教育長）

一点よろしいでしょうか。“土曜スクール”“通学合宿”がいろいろなところに入っているので整理したほうがいいと思います。その辺を事務局にお任せいただければと思います。青少年育成団体活動ということで“土曜スクール”“通学合宿”が入っていますが、これには該当しませんのでその辺を整理していきたいと思います。

（石田議長）

それでは「3 - 大学等との連携による特色ある生涯学習プログラムの充実」について、説明をお願いします。

●説明

「3 - 大学等との連携による特色ある生涯学習プログラムの充実」

（石田議長）

「3 - 大学等との連携による特色ある生涯学習プログラムの充実」について説明が終わりました。皆様から、評価やご提案をいただきたいと思います。

（塗谷委員）

課題の中の“市民のニーズに合わせた”とか“マンネリ化しないように”という記述がありますが、市民の意見や要望などを聞いたりして「今度はこういうことをしよう」とかされているのか教えてください。

（事務局：加藤係長）

毎年ではありませんが、講演会を行った際にアンケートを実施しております。今年度もアンケートの実施を考えています。

（石田議長）

アンケートは講演会ごとにやってください。データになりますので。

（川名(敏)委員）

講演会はこちらからテーマを大学側にお願いできるものなののでしょうか。こういった形でテーマが選ばれてくるのでしょうか。

（事務局：加藤係長）

大学によってですが、いくつか決まったテーマの中からこちらで選んでお願いできる大学もありますが、大学側から「今年はこれで」という大学もあります。

（事務局：野田教育長）

城西国際大学はうちだけでないんですよ。だからこちらからの要望という訳にはいかないんです。

（事務局：入江課長補佐）

城西国際大学は県内5市町村まわりまして、今年はこの先生でということで、講演会の市民への学習の場というのを提供していただいているので、うちが言うことはできません。

（事務局：黒野課長）

今、大学交流事業で講演会を中心にやっている大学が、東洋大学、早稲田大学、城西国際大学ということで、東洋大学と早稲田大学につきましては、基本的にある程度分野別に、こういうテーマでこういう先生が講演会を行うことができますよと、そういう一覧が毎年度来ます。かなりの分野別の先生方の授業がありまして、選択肢は相当あるんです。大学側と交渉する際に、市民の皆さんが非常に興味を持っているものについて、なるべくお願いをしております。しかしながら人気のある先生方というのはどうしても早く売れてしまって、中々押えることができないのですが、なるべく市民からのアンケート等によるご要望ですとか、今の旬のテーマはこういうものなのではないか、こういうことをやったらいいのではないかと考えながら、大学側に対してこういうテーマでこういう先生をお願いしたいということは、極力行っております。

城西国際大学については、先ほど言いましたように、大学側で指定してきたメニューで行っている状況でございます。講演については以上です。

体験関係については、毎年同じような体験ということで、これからも早めに大学側に働き掛けて、なるべく市民が関心を持つようなものを取り入れた事業を行っていきたいと思っております。

（石田議長）

大学との連携については、他の市町村と比べて非常にやりやすいというか、特色あることなので、評価もできますし、また進めていただければと思います。

それでは「3 - 生涯学習施設の整備」について、説明をお願いします。

●説明

「３－生涯学習施設の整備」

（石田議長）

「３－生涯学習施設の整備」について説明が終わりました。皆様から、評価やご提案をいただきたいと思います。

よろしいですか。

それでは「３－読書・学習環境の充実」について、説明をお願いします。

●説明

「３－読書・学習環境の充実」

（石田議長）

「３－読書・学習環境の充実」について説明が終わりました。皆様から、評価やご提案をいただきたいと思います。

（川名(敏)委員）

２行目の“さらに文学賞を受賞した書籍を置くことで”と、成果の２行目の“「文学賞受賞作品」を置いてほしい”と同じようなことが上と下にありますが？

（事務局：洲永主査）

まさに、文学賞を受賞した書籍を置くことで、充実を図るということで進めておりましたが、そこが足りないということで、もう少し作品を“候補”も含めて置いてほしいという要望があったということでございます。

（石田議長）

文学賞受賞書籍を置くということで事業を進めてきたけど、もっと候補まで置いてほしいということですね。

（川名(敏)委員）

１つのタイトルを何冊もということですか。

（事務局：洲永主査）

そういうのではなく、いろいろな文学賞があるので、その候補を含めて多くのタイトルをとということです。

（塗谷委員）

鴨川市には、本庁舎や支所とか Wi-Fi 対応施設があると思いますが、図書館は読書環境を整備するという意図から Wi-Fi を引いてないのか、それとも他に意図があるのか、その辺を教えてください。

（事務局：洲永主査）

今のところ要望がないというのが現状です。近隣の市町村を見ると、館山図書館では Wi-Fi を実施しているそうですので、今後の検討課題ではあるかと思います。

（塗谷委員）

それこそ、読書に重点を置くためには Wi-Fi はあってもなくても、あくまでも図書っていうことに重点を置くのであれば、Wi-Fi はかえって邪魔かもしれないですもんね。

（事務局：洲永主査）

実際そういう要望が出てくるかとは思ってますので、そこはまた検討して実施していく可能性はあると思います。

（石田議長）

他にございますか。

それでは「3 - 図書資料の充実」について、説明をお願いします。

●説明

「3 - 図書資料の充実」

（石田議長）

「3 - 図書資料の充実」について説明が終わりました。皆様から、評価やご提案をいただきたいと思います。

（庄司委員）

現在、市内全ての小中学校で朝の読書ということで、途中でお休みする部分もあるんですけど、年間通して読書活動をしています。日課の始めにそれを位置づけて、落ち着いて一日の学校生活だとか、あるいは学習が進められるようにということで、非常に中学校への配本は有り難いところで、今後も継続をお願いしたいと思います。

そこで、平成 28 年度からは新規事業として小学校への配本事業を行うというようなことがありましたので、これは事実やっていくということなので、概要に“中高生向け”と書いてあるので、そこまでは入らないのかなとも思うのですが、28 年度 2 校ということで、市内 8 校ありますけれども、今後そこへ順次広げていってもらいたいということも含め、ここに課題として「小学校の配本事業を進めていきたい」とか、「広めていきたい」とか書いてもいいのではないのでしょうか。そうすれば今度 28 年度にも繋がるし、28 年度の評価で“それが出来た”というようなことで書けるかなと思うので。概要にも課題の方にも加えてもらえると、そのまま新しい事業が生きてくるかなと。次も評価しやすいと思います。

（事務局：黒野課長）

今の件ですが、小学生の配本事業を試行的に進める作業をしております。そういうところから 27 年度の評価につきましては、一つ課題ということで「小学生向けの配本事業」ということを記載させていただくことでご了承いただければと思います。よろしくお願いします。

（川名(康)委員）

事業等名が“図書資料の充実”ということになっていますが、一方概要では“中高生”とあって、先ほど庄司委員から「小学生を含めては」ということがありましたけれども、これはあくまで“小中学生の児童生徒向けの図書の充実”のみを目的としている事業なの

でしょうか。それとも生涯学習ということで、我々成年も含めた“図書資料の充実”を図っているのかどうか。そうであれば、ここの実施状況ではその部分が全く見られないという部分で事業名との齟齬がある。一方でこの目的はあくまで児童生徒へのものなのか、そうであるとすれば事業名を“小中学生向けの図書資料の充実”とするべきと思うのですが。

（事務局：洲永主査）

“図書資料の充実”と謳っておりまして、こちらはあくまでも“図書資料の充実”ということで実施してました。どちらかというと“読書・学習環境の充実”の方にこの内容についても触れている部分があるのかなと感じています。実際昨年度もそうなんですが“図書資料の充実”の中では、今は中高生の図書、郷土資料の充実に重点を置いて実施しているところで、全体を見ながらこれから実施していかないといけない事業かなと思っております。ですので、「資料の充実」という言葉をそのままにして、内容の変更をしていきたいと思っているんですけども。

（川名(康)委員）

課題の中で、今後成年向けの図書資料の充実を含める変更を加える、ということでしょうか。

（事務局：洲永主査）

27年度については中高生、郷土資料ということでやったということです。

（川名(康)委員）

今後の課題に載せていくということでしょうか。

（事務局：洲永主査）

そういうことです。

（川名(康)委員）

であれば、図書資料の充実として、今回の重点目標は中高生であったと、次は小学生と成年を課題にするということで考えていただけるということですね。わかりました。

（石田議長）

それでは次の「3 - 地域文化クラブ活動の促進」について、説明をお願いします。

●説明

「3 - 地域文化クラブ活動の促進」

（石田議長）

「3 - 地域文化クラブ活動の促進」について説明が終わりました。皆様から、評価やご提案をいただきたいと思います。

よろしいですか。

それでは次の「4 - 歴史・文化の発掘と保存・展示」について、説明をお願いします。

●説明

「4 - 歴史・文化の発掘と保存・展示」

(石田議長)

「4 - 歴史・文化の発掘と保存・展示」について説明が終わりました。皆様から、評価やご提案をいただきたいと思います。

(事務局：石川文化振興室室長兼課長補佐)

補足説明です。先ほど川名委員からも具体的な数値を挙げて、報告或いは次の目標ということでお話がありましたが、参考までにここに挙げてあります、27年度の企画展「名工の系譜」でアンケートを実施した結果の概要をお伝えします。

アンケートは、これだけは把握しておきたいという項目を概略で意見を集計しているのですが、項目として、来館者の年齢、展覧会の評価“悪い”“普通”“良い”という項目に分けて、後は自由表記で今後どういった展示が必要かということも聴いております。年齢は、圧倒的に60代から70代の方が多いです。ただ最近は20代30代の方も増えています。概略なんですけど、来館者の中では市外の方が市民の倍以上の感じですね。資料館には市民の方も来られるんですが、市外の方が多いということです。2,000名弱の来館者に対して約10%の回答率なので200名くらいの回答の中で、内容について“悪い”というのが1つありました。あとは20名前後が“普通”、残りの約90%が“良い”という評価をいただきましたので、今後も資料館・文化財センター・市民ギャラリーの展示については、“良い”が少なくとも70から80%くらいの評価を得られるような形で実施していければと考えております。

(石田議長)

よろしいですか。

それでは次の「4 - 歴史・文化の学習と活用」について、説明をお願いします。

●説明

「4 - 歴史・文化の学習と活用」

(石田議長)

「4 - 歴史・文化の学習と活用」について説明が終わりました。皆様から、評価やご提案をいただきたいと思います。

よろしいでしょうか。

以上で、平成27年度教育行政評価報告書の生涯学習課に関する点検と評価が全て終わりました。今、皆様からいただいた評価や提案を教育委員会を通して、議会へ提出することとしてご異議ございませんでしょうか。

『異議なし』の声

(石田議長)

はい、ありがとうございます。

それでは、本件につきましては「意義なし」と認め、そのように決定をさせていただき

ます。なお、まとめる際の文言の調整などにつきましては、議長にご一任くださいますようお願いを申し上げます。

その他、皆様から何かございますでしょうか。

（高橋委員）

ひとついいですか。もう済んでしまったことだと思いますが、先ほど予算のところ、前年度の予算と今年度の予算に変化がなかったのですが、仲澤会長の時からそうだったのですが、子ども会育成会に対する予算が若干少ないようなので、行事は非常に多く実施しているので、この席で言うことではないのかもしれませんが、大変申し訳ありませんが、わずかでも前進をしていただけたら有り難いと思います。よろしくお願いします。

（事務局：黒野課長）

具体的に、どのような事業の中でお金が足りないとか。

（高橋委員）

全部足りないです。25万ほどで各地区を網羅するなんてできません。それに行事の時もみんな手弁当でやって、足りないのは間違いないです。だけど、仲澤会長がやられてて、みんな職員もがんばってるので手弁当でOKだよというけど、それはなかなか未来もそうはいかないですよ。

（事務局：黒野課長）

それは育成連盟の活動事業についての予算がということですね。

（高橋委員）

総括で全部きますので、それぞれ人数割りだとか地区割りできますが、全体として足りないということです。

（事務局：黒野課長）

ざっくりと、どの程度の金額がですか。

（高橋委員）

今度出します。相談員の皆さんもそうですけど育成会もがんばっているのです、是非とも少しでも上げていただければうれしいなということを伝えたかったです。

（事務局：黒野課長）

検討させていただきます。

（石田議長）

それに関してですけど、各団体から要望とか聞いているのですか。今みたいな、うちはこれだけやって足りないんだというのを何かの形で出していく、という機会があればそれはそれで議論する意味があるのだと思うのですが。もらいました、それを100%使いましたという報告書だけではなかなか難しいのかなと思いますけどね。そういう補助金などのくらい必要性があるのかということとどこかで評価していかないと、増やしていくのか、減らしていくのか、その辺の判断を行政はしていかないといけないので、どこかでそういうのをやっていかないと、必要なところには出すべきですよ。ただ、あまり必要のないところ

ろは減らしていくとか、何かしなければいけないわけで、その辺の判断をどこかでしなければいけないと思います。

（事務局：黒野課長）

予算の時期になりましたら、補助金交付団体に事前にヒアリングをするなり、そういう場を設けていけばなと考えています。ただ、それが叶うかどうかは別にしてヒアリングはさせていただければと思います。

（石田議長）

はい、他にございますか。なければこれで終わりたいと思います。委員皆様方には、短時間にも関わらず積極にご審議をいただきましたこと、感謝を申し上げ、議長の任務を降ろさせていただきます。

ご協力ありがとうございました。

それでは、進行を事務局にお返しします。

（事務局：入江課長補佐）

石田議長ありがとうございました。それでは次第の〔 6 . 連絡・その他 〕に入りますが、皆様何かございませんでしょうか。

それでは事務局、何かありますか。

6 . 連絡・その他

連絡

- ・平成 28 年度全国社会教育研究大会千葉大会について（事務局：川上社会教育主事）
- ・報酬・費用弁償について（事務局：加藤係長）
- ・承諾書について（事務局：加藤係長）

（事務局：入江課長補佐）

はい、ありがとうございました。他にはよろしいですか。

大変長らくご協力ありがとうございました。貴重なご提案賜りまして、これからの事業の糧にしていきたいと思っておりますのでよろしくお願いいたします。

これを持ちまして、『平成 28 年度鴨川市社会教育委員会議』全日程を終了させていただきます。本日はどうもお疲れさまでした。

7 . 閉会

鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第7条第3項の規定により、会議録の確認をいたしました。

平成 28 年 8 月 29 日

会議録署名人

鴨川市社会教育委員 塗 谷 和 男